２０２６年１０月２９日（木）

北海道科学大学との藻場造成共同研究
フィールドワークを実施しました

函館どつく株式会社（代表取締役社長：服部 誠、以下、当社）は、北海道科学大学との産学連携により、海藻を育てる「藻場（もば）」を造成するコンクリートブロックの共同研究を進めております。このたび 2026 年 10 月 2 日（金）、同大学の今野克幸教授・三原義広講師および学生が当社函館造船所を訪れ、当社職員とともに、岸壁の試験場において新たな供試体（試験用ブロック）の設置作業（フィールドワーク）を行いました。

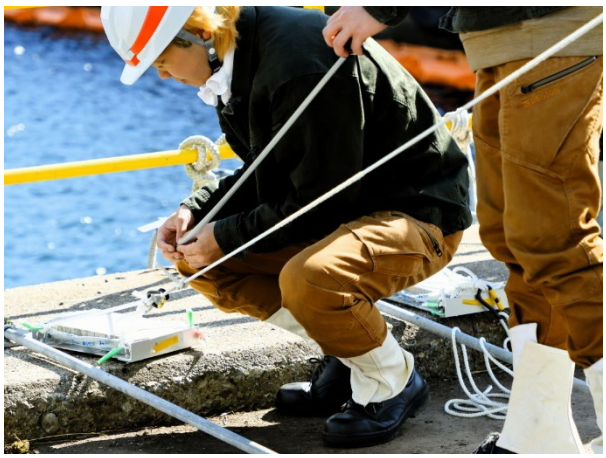
本研究は、木材加工で生じる木くずを発酵させた「発酵木粉」をコンクリートブロックに練り込み、コンブなどの海藻が育ちやすい環境をつくるものです。海藻が増えることで海の二酸化炭素吸収（ブルーカーボン）を促し、漁業資源の回復にもつなげる、環境と地域に貢献する取り組みです。

当社函館造船所の岸壁では、2024 年 10 月から曝露試験を継続しており、これまでの試験では発酵木粉を含むブロックの方がコンブの着生量・生長ともに良好との結果が得られています。2026 年 10 月 2 日には、改良を加えた新たなブロックを設置し、試験の次の段階へと進みました。

当社は、造船で培った技術と地域の海を次の世代へつなぐため、北海道科学大学とともに本研究を継続してまいります。

※この藻場造成ブロックについては 2024 年 6 月に特許出願済（北海道科学大学）

詳細ページに移動します（北海道科学大学特別サイト）



【共同研究者】北海道科学大学
工学部 都市環境学科 教授 今野 克幸(代表)、薬学部 薬学科 講師 三原 義広
HP: https://www.hus.ac.jp